

2008年12月07日（立教大学）

出席者：小澤、朝岡、阿部、井元、見上、原田、戸田、降旗、山田、植田、諏訪、谷口、飯尾、比屋根、樋口、福井、本庄、湊、陸、林（敬省略）

1. 第08-2回運営委員会議事要録の確認：確認。プロジェクト研究の一環として北京での開催も視野に入れる。

◆報告事項

2. 2008年度大会報告：参加者が予想以上に多く収入増。学生アルバイトにも謝金を払えた。次回大会準備金として19万7千円を学会に寄付。大会準備金の返還は、慣行として残す。余剰金が出た場合のルールを今後検討する。

3. 2009年度大会：実行委員会のマニュアルを整理・行動。既に第2回実行委員会を開催。第3回では、予算案と開催要項原案を検討する。

4. 田んぼ国際環境教育会議：総収入が185万円。経団連、国際交流委員会からの支援により収支0円。国際会議のアンケート。来年度開催の日程、ビジョン、予算、招聘者を検討中。

5. 役員選挙：会長5通、運営19通の推薦書。文字数をオーバーした原稿については、選挙管理委員会の判断で不公平のないよう処理する。公示と告示に関しては、選管で判断をする。

6. 大学評価・学位授与機構 機関別認証評価委員会専門委員候補者推薦：事務局から小堀洋美会員を推薦。

7. 退会者の確認：8名。

8. 共催・協力・後援・協賛等依頼：なし。

9. その他：なし。

◆協議事項

10. 第4回学会研究・実践奨励賞最終結果：7件の応募。運営委員で1次審査、2次審査を選考委員である陸会員、比屋根会員、植田会員で実施し、3名を推薦。

11. 新入会員の承認：24名承認。

12. 各委員会からの報告 (1) 編集委員会：学会誌第39号最終校正中。NLと選挙関連の資料と一緒に12月25日刊行予定。第40号は3月末に刊行予定。投稿論文、田んぼ・学会セミナーに関する内容を掲載予定。第41号は、来年度の大会に合わせ7月下旬に刊行予定。20周年特集を組む予定。(2) 広報委員会：NL84号校正中。NL85号については、学会誌に合わせて3月末発行予定。20周年記念大会や役員選挙の結果を掲載予定。地域情報ネットワークの組織化を進める。(3) 企画委員会：20周年記念大会における企画委員会の役割の整理、20周年記念大会のコンセプトの議論、ロードマップ作成の提案。(4) 国際交流委員会：①「5. 田んぼの国際環境教育会議」を参照。②韓国と協定案を作成する。(5) イノベーション担当：HPの活性化のために会員で情報を共有できるシステムを構想。

13. 第11期会計監査の選出に関する問題：このようなミスを避け、円滑な事務局体制を作るため、事務局長代行を3月31日迄の任期で降旗信一委員に努めてもらう。会費の値上げも検討予定。

14. 日韓環境教育学会交流協定および20周年記念事業：20周年記念大会の今後のロードマップを作成する。

15. 要旨集のデジタル化：著作権等の法律が関わってくるため慎重に扱う。次回の運営委員会へ審議継

続。

16. 規約改正に関する支部大会等での公聴会開催：規約改正については、来年度の総会で再度提案。総会前に九州、関西等で規約改正の目的などの説明のため公聴会を開催予定。周知方法は、NLやHPへの掲載。

17. その他：会員送付用封筒は、現在の紙封筒を継続する。

18. 次回常任・運営委員会：常任：2009年2月16日（月）13：00～（学習院大学）常任：2009年3月29日（日）10：30～（立教大学）運営：2009年3月29日（日）13：00～（立教大学）